

金色の秋 大地の恵が実る



10月3日(水)に、中里小学校5年生28人が、5月に自分たちで田植えをした田んぼで稲刈り体験をしました。田んぼに足を取られながらも黙々と刈り続け、終わる頃には「腰が痛くなった」という声も聞こえてきました。新谷唯斗くんは「面白かった。鎌で刈る所が難しかった。農家が一生懸命収穫していることもわかったので、ご飯を残さず食べるようにしたい」と話しました。収穫したお米の品種は「まっしぐら」で、精米後に児童たちに手渡されます。

【スポットライト】
中里小ごみ学習
少年の主張大会
中里中PR活動

【まちの話題】
給食応援隊薄市小訪問
第5回活ハマまつり
災害時の建築物解体・撤去の協定

【お知らせ】
町民文化祭のおしらせ
鳥インフルエンザ防止
クマにご注意